

The image shows three wooden crosses of varying heights silhouetted against a sunset sky. The sun is a bright yellow orb on the horizon, casting a warm glow. The foreground is dark, showing the silhouettes of the crosses and the ground. The background is a mix of orange, yellow, and purple hues from the sunset, with some clouds visible.

十字架がくれた元気
～愛～

2009/4/5

ヨハネ福音書3章16～17節

- 「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。」

神が愛された「世」とは

- 神を無視している

- 「神を知りながら、神としてあがめることも感謝することもせず、かえって、むなしい思いにふけり」
＜ローマ1:21＞

- 神の独り子を受け入れなかった

- 「その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。言(ことば)は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。」＜ヨハネ1:9-11＞

神は独り子を与えられた

- 神はこの世を裁かなかった
 - － 罪を見逃したのではない！
- その代わりに、神は自分自身を裁かれた
 - － 裁くべき方が裁かれたのである
- 神が与えられたのは「独り子」であつた
 - － 人間が考えられるもっとも大切なもの

独り子は私たちの代わりに裁かれた

- 独り子は神であることを捨てた
 - － 人として裁かれるために
- 独り子は最もむごたらしい死を選ばれた
 - － 楽に死なれた？わけではない
- 十字架の死は何を物語っているか
 - － 罪に対する神の怒り
 - － 罪の完全な贖い(あがない)

あらわされた本当の愛

- 実行された愛
 - 「思い」でも「言葉」でもなく「行為」
- 無条件の愛
 - 愛される資格のない者を愛された
- 無償の愛
 - 何一つ報いることのできない者を愛された
- 完全な愛
 - 私たちに「永遠の命」をもたらし

愛の見本

十字架がくれた元気

• 赦し

—「わたしは、彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い出しはしないからである。」＜ヘブライ8:12＞

• 友情

—「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」＜ヨハネ15:13＞

• 愛

—「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」＜ヨハネ3:16＞